

泊発電所 3 号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所 及びアクセスルートについて (審査会合指摘事項に対する回答)

令和 5 年 8 月 3 日
北海道電力株式会社

本資料中の [〇〇] (記載例: [1.0.2-〇]) は、当該記載の抜粋元として、
まとめ資料のページ番号を示している。

審査会合での指摘事項に対する回答

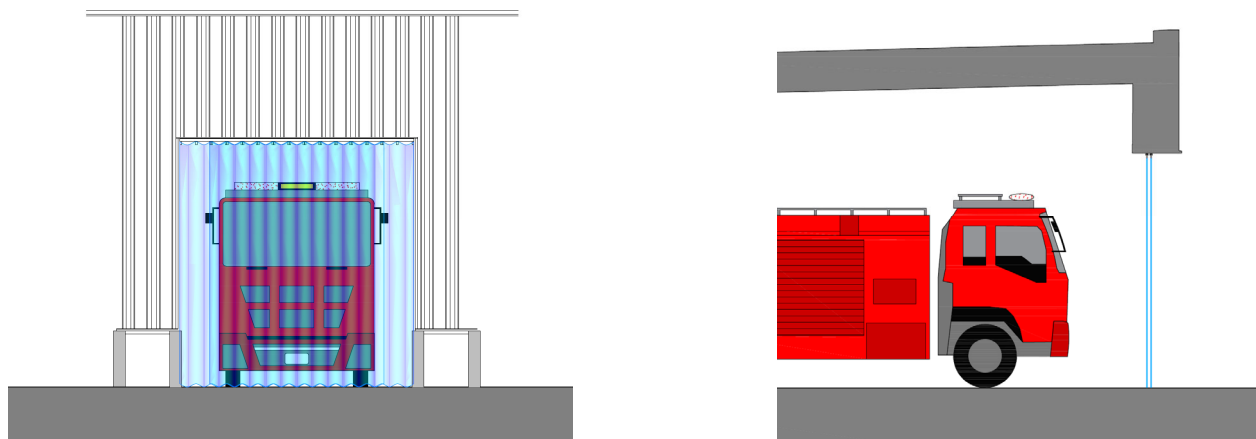
指摘事項 230525-3

【指摘事項】（第1149回審査会合（令和5年5月25日））230525-3

51m倉庫・車庫の出入口に設置される防雪シートについて、可搬型重大事故等対処設備の運搬、移動に影響を及ぼさない設計とするとしているが、具体的にどのような設計とすることで、運搬、移動に影響を及ぼさない設計とするのか説明すること。

【回答】

- 51m倉庫・車庫の出入口は、地震時の変形によりシャッターが開閉不能となる可能性を考慮してシャッターを撤去し、積雪の影響を軽減するための防雪シートを設置する方針である。
- 防雪シートは、以下に示すとおり可搬型重大事故等対処設備の運搬、移動に影響を及ぼさない設計とする。
 - 人力で開閉可能な設計とする。
 - 地震等の発生によりシートが脱落した場合においても、人力で排除可能な重量とする。
 - 不燃性材料又は建築基準法施行令若しくは消防法施行令に基づく試験により不燃性材料と同等の性能であることを確認した材料を用いる。
- また、防雪シートは、想定される自然現象等に対して、防雪シート自体が他の設備に悪影響を及ぼさないものとする。
 - 竜巻に対する影響については、51m倉庫・車庫の出入口に固定するものの、飛来物になる可能性があるが、竜巻の評価における設計飛来物に包含できることを確認した。



【凡例】
[Blue box with vertical lines] : 防雪シート

図 防雪シートの設置イメージ

[1.0.2-別紙38-1,2,6]